

京都女子大学

食物學會誌

第 7 號

JOURNAL OF FOOD SCIENCE
KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

No. 7

京都女子大学食物学会

FOOD SCIENCE SEMINAR
KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

DECEMBER 1959

食 物 学 会 誌

第 7 号

目 次

綜 説

- 簡易水道敷設前後に於ける水の有無・使用方法等の
如何と関係ありと思考せられる伝染病患者の消長 土 屋 忠 良 1
- 食品衛生的見地から観た腸内細菌の今昔 (Ⅲ)
「特に赤痢菌群 *Shigella group* に就いて」 (其の一) 平 田 一 士 6
- 技術・家庭科改訂の根拠とその内容 黒 川 喜 太 郎 19

研 究 報 文

- 食品の官能検査に関する研究 岡 部 敏 子 23
- 肉の弾力性及び水和度と鮮度の関係について 足 立 晃 太 郎 43
下 村 佐 和 子
亀 井 光 子
- Di-, Tricamphorylarsinic Acid 及び Dicamphorylphosphinic Acid
の殺虫・殺菌効力について (樟脳誘導体の殺虫効力に関する研究 第8報) ... 太 田 馨 50
- 給食管理のための食事調査の一方式と考察 内 田 裕 己 54

調 査

- 弁当食の考察 大 食 二 回 生 60
- 食物と感覚 大 食 三 回 生 69
- 昭和34年度夏季公開講座要旨 76
- 特別講演会要旨 79
- 栄養実習記 80
- 工場見学記 82

学 級 だ よ り

- 一日食品衛生監視員になつて 岡 本 繁 子 93
- 学 会 記 事 95

学 会 記 事

夏 季 公 開 講 座

本年度食物学会主催の夏季公開講座は8月1日、2日、3日、4日の4日間にわたり行われた。酷暑にも拘らず遠方より多数の受講生を迎え、約60名に達し仲々の盛況であつた。

講師または受講生の方にその内容要旨をお願いし、76頁に掲げた。受講しえなかつた人の参考となれば幸いである。

文 化 祭

恒例の学園文化祭は本年10月17日、18日の2日間行われた。食物学会より参加せるテーマは下記の通りで

あり、なかなかの好評であつた。夫々の内容については本誌「調査」の項を参照せられたい。

体 育 祭

恒例の体育祭は10月25日澄み渡つた秋空のもとに華やかに挙行された。呼物の仮装競演には大食一「誇り高き女」、短食二ノ一「バビキユー」、短食二ノ二「日本誕生」が参加し大喝采をうけたが残念ながら入賞を逸した。来年度は全クラス参加し入賞してほしいものである。

また新構想の？競争はアドバイザーの先生にそのクラスのもの7人で衣裳を着せ或る人物に作り上げるのであるが、大食一「10万円札の聖徳太子」、大食二「青春よもう一度」、短食一ノ一「美智子妃殿下」、短食一ノ二「小坊主」、短食二ノ一「おとらさん」、短食二ノ二「ナポレオン」等が出来上つた。

特 別 講 演 会

本年度の学会特別講演会は10月30日、東京大学教授・食糧研究所所長・農学博士桜井芳人先生を招き、「日本の食糧事情とその問題点」と題して約2時間にわたり行われた。現在の食糧事情の好転とそれに関す

る諸問題点につき平易にお話し下され、関心の深いことだけに一同興味深く拝聴した。大食3回生の方に講演要旨をまとめてもらい、79頁に掲げた。

編 集 後 記

- 第7号をお送りします。本号にも多数の玉稿を寄せられ感謝致します。次号には一層の御投稿をお願い致します。学生諸姉も奮つて御投稿下さい。
- 卒業期も次第に近づいて来ますが、本年卒業される皆様も引続き本誌を愛読下さる様お願い致します。

- 御希望者は編集委員まで御申し出下さい。
- 本誌に関する御意見、御連絡は下記に願います。
京都市東山七条 京都女子大学
食物学会誌 編集委員 電⑥6131 学内26

第 8 号
原 稿 募 集
〆切日 昭和35年5月20日

京都女子大学 食物学会誌 第7号 (非売品)

昭和34年12月7日 印刷

昭和34年12月12日 発行

編集委員代表

編集者 太 田 馨

発行者 京都女子大学食物学会

京都市左京区百万遍東入

印刷所 栄光堂印刷所

電話⑦0695・2970
